

Rapport (ラポール) とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。
多摩大学広報誌「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐ
コミュニケーション誌です。

発行者/多摩大学 発行日/2018年3月30日
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1 TEL:042-337-1111 FAX:042-337-7103
<https://www.tama.ac.jp/>

Rapport

2018
Number

101

多摩大学 | 広報誌 |

Vol.101 Contents

2017年度 多摩大アクティブ・ラーニング発表祭	02-03
2017年度 冬季SRC(Student Research Conference) 発表	04
多摩大学 体育会フットサル部 活動報告	04
News	05
経営情報学部 後援会主催 就職セミナー 開催報告	06
「グローバル化する観光産業の人材育成と活用VI」シンポジウム 報告	06
経営情報学部 2017年度 春学期 褒賞者	07
SGS Festa 11th/第29回多摩祭	08

2017年度 多摩大アクティブ・ラーニング発表祭

多摩大学では長年にわたりプロジェクト型地域学習を推進し、学外の関係者の方々もお招きした「地域プロジェクト発表祭」にて活動成果を報告してきました。2016年度からは活動の対象とフィールドを「地域」にとどめることなく、「多摩大式プロジェクト型学習」として進化させていくことを目標とし、名称も「多摩大アクティブ・ラーニング発表祭」に一新しました。2017年度も多種多様なプロジェクト、研究、アクティブ・ラーニングプログラムが展開され、2017年12月9日の「2017年度 多摩大アクティブ・ラーニング発表祭」（主催：多摩大学アクティブ・ラーニング支援センター）にて報告されました。今年度は5つの教室にて、プロジェクト型学習・研究、ALプログラムの発表、3大学による招待発表、高大接続ALプログラムの発表があり、地域、行政、企業、NPO、教育機関の方々にもご出席いただき、本活動の成果を広く共有する機会となりました。



【URL】 https://www.tama.ac.jp/cooperation/managementcenter/2017_ActiveLearning.html

タイトル	発表・所属団体
多摩市立諏訪小学校放課後子ども教室「英語であそぼう！」プロジェクト 〔連携先〕 多摩市立諏訪小学校放課後子ども教室「諏訪小ふれんず」	石川晴子ゼミ
近隣交流七輪プロジェクト 2017 〔連携先〕 聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会	梅澤佳子ゼミ
世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2017 大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業 〔連携先〕 八王子市、八王子市地域包括支援センター旭町、八王子市社会福祉協議会 大学コンソーシアム八王子	梅澤佳子ゼミ
多摩グリーンライブプロジェクト 2017 〔連携先〕 多摩市立グリーンライブセンター、多摩グリーンボランティア連絡会 一本杉公園みどりの会	梅澤佳子ゼミ
みんなの食卓プロジェクト 2017 〔連携先〕 聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会 多摩市青少年問題協議会連光寺・聖ヶ丘地区委員会、聖ヶ丘小学校、連光寺小学校	梅澤佳子ゼミ
「そうだ、島根に行こう」プロジェクト 〔連携先〕 浅利観光株式会社	奥山雅之ゼミ
温泉街の再生	栢原伸也ゼミ
地域観光文化 ～青ヶ島～	杉田文章ゼミ（青ヶ島班）
e スポーツの将来 ～21世紀型最新スポーツのありかた～	杉田文章ゼミ（eスポーツ班）
Fリーグ観客動員数増加についての研究	杉田文章ゼミ（フットサル班）
日の出町産業振興プロジェクト 〔連携先〕 日の出町観光協会	丹下英明ゼミ (グローバル化と地域産業・企業研究室)
アジアダイナミズム研修 ～済州平和フォーラム 2017～ 〔協定校〕 済州漢拏大学 〔協力先〕 済州平和研究院	趙佑鎮ゼミ
八王子市の観光人資源発掘プロジェクト 〔連携先〕 八王子市観光協会	中庭光彦ゼミ
八王子市の食観光資源発掘プロジェクト 〔連携先〕 八王子市観光協会	中庭光彦ゼミ
日野市の観光地域資源発掘プロジェクト ～豊田ビール～ 〔連携先〕 日野市観光協会	中庭光彦ゼミ
富士吉田市吉田地区の観光資源発掘プロジェクト 〔連携先〕 富士吉田市観光協会	中庭光彦ゼミ
八王子農業振興に向けた取り組み ～ブルーベリー収穫体験（援農）により学んだこと～ 〔連携先〕 サイバーシルクロード八王子、番場農園 〔共同参加者〕 多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校、松本祐一ゼミ（松本先生・ゼミ生1名）	野坂美穂ゼミ
海運業とスロートレードについて	バトルゼミ
セーリングと2020年東京オリンピック	バトルゼミ
日本のアニメ産業の現状と課題	バトルゼミ
若者のバイク離れについて	バトルゼミ
奥多摩活性化事業開発プロジェクト 〔連携先〕 NPO 法人奥多摩カヌーセンター等	松本祐一ゼミ



金美穂 アクティブ・ラーニング支援センター長による挨拶



発表会場の様子



A会場（101教室）での発表



B会場（201教室）での発表

タイトル	発表・所属団体
多摩祭野外イベントプロジェクト	松本祐一ゼミ
銚子市活性化事業開発プロジェクト【夏合宿】 [連携先] NPO ちょうしがよくなるくらぶ	松本祐一ゼミ
オフサイトミーティング	見山謙一郎ゼミ
会議特化型インターンシップ	見山謙一郎ゼミ
多摩市世代交流プログラム ～学生がつなく、未来のまちづくり～	見山謙一郎ゼミ
画像の認識による脳波の変化 ～データから好き嫌いを判断する～	良峯徳和ゼミ
虚偽行為の観測	良峯徳和ゼミ
「パワースポット」の魅力を脳波計測による生理学的指標の観点から分析する試み	良峯徳和ゼミ
モンゴル帝国のユーラシア興隆史 [協力先] 国際日本文化研究センター、龍谷大学、関西大学東西学術研究所	インターゼミ (社会工学研究会) アジアダイナミズム班
若者にとって魅力ある多摩地域の創生 ～地域内高齢者活躍による若者呼び込みの可能性と提案～ [連携先] 多摩市	インターゼミ (社会工学研究会) 多摩学班
「多摩未来奨学金プロジェクト：産業・企業グループ」 生業 (なりわい) マルシェ ～多摩地域で自分らしい働き方をみつけよう～	経営情報学部 大橋奈紗
「多摩未来奨学金プロジェクト：教育・文化グループ」 多摩のいいね！を発掘しよう ―SNS を用いた多摩地域振興企画の提案	経営情報学部 川村千夏
「多摩未来奨学金プロジェクト：健康・福祉・環境グループ」 地域の多様な資源と多様な人をつくる新しいチャレンジ	経営情報学部 山村香織
税金と幸福度 ～日本とデンマークの違い～	経営情報学部 川田浩大
日本の長時間労働問題	経営情報学部 田中雄大
多摩大学・上海東海学院双方向サマープログラム [協定校] 上海東海職業技術学院	プログラム参加者
高山市久々野地域におけるグローバルビジネスの共同研究結果と提案 [連携先] (一財) 飛騨高山大学連携センター	AL プログラム「地域観光研究 in 飛騨高山」参加者
いちょう団地住民からみた団地環境の実態 [協力先] 横浜第7自治会、大和市役所、大和市中和田社会福祉協議会	高大接続 AL 研究会「いちょう団地プロジェクト」 グローバルスタディーズ学部 田中孝枝ゼミ
多文化共生の中で置いていかれる日本人 ―住民が語るいちょう団地の過去と現在 [協力先] 横浜第7自治会、大和市役所、大和市中和田社会福祉協議会	高大接続 AL 研究会「いちょう団地プロジェクト」 グローバルスタディーズ学部 田中孝枝ゼミ
いちょう団地から見る高齢化社会について	高大接続 AL 研究会「いちょう団地プロジェクト」 多摩大学目黒中学校
いちょう団地から見る多文化共生について	高大接続 AL 研究会「いちょう団地プロジェクト」 多摩大学目黒高校
済州島国際平和フォーラムを通じた多文化共生について	高大接続 AL プロジェクト 多摩大学目黒高校
第四次産業革命による環境と行政の変化	高大接続 AL プロジェクト 多摩大学目黒高校
虫よけ薬の開発コンサルタント	高大接続 AL プロジェクト 多摩大学目黒高校
目黒プロジェクトの活動内容及び増上寺イベントについて	高大接続 AL プロジェクト 多摩大学目黒高校
目黒プロジェクトによる仙台イベント及びオータムフェスティバルについて	高大接続 AL プロジェクト 多摩大学目黒高校
リップクリームの開発	高大接続 AL プロジェクト 多摩大学目黒高校
招待発表① 東大和市 ひがしやまとの食の今昔物語 ～多摩の文化を味わい、知ろう！～ 東村山市 村山×寺×御朱印 ～御朱印で地域に愛着を～	東京経済大学 山本聡ゼミ 東京経済大学 山本聡ゼミ
招待発表② 食産業集積「フードバレーとかち」の特質と今後の方向性 [連携先] 株式会社 Little Japan	明治大学 奥山雅之ゼミ
招待発表③ 奈良県警察と取り組む防犯リーダーの育成	帝塚山大学 法学部法学科
招待発表④ 地域在宅高齢者の咀嚼力、味覚に応じた食事提供について	帝塚山大学 現代生活学部食物栄養学科

実演・ポスター掲示	
音楽を聴いた際の脳波反応の測定、分析 (実演)	良峯徳和ゼミ
AL 実践「志プロジェクト」 志企業の会社案内プロジェクト ポスター掲示	AL 実践「志プロジェクト」参加学生作成

※ AL : アクティブ・ラーニング



C 会場 (112) 教室での発表



D 会場 (211 教室) での発表



E 会場 (212 教室) での発表



アゴラでの展示発表

2017年度冬季SRC (Student Research Conference) 発表

2018年1月30日、多摩キャンパスにてSRC (Student Research Conference) が開催されました。SRCは経営情報学部の学生が研究成果を発表する場で、年2回(夏・冬)行われています。1発表につき10分または15分の持ち時間で発表と質疑応答が行われました。質疑応答では学生や教員から、「目的はおもしろいので、さらに追求するように」「情報はどのように反映されているのか?」「分析する前にもっとデータを調べた方がよい」など様々な意見や質問、アドバイスがありました。



		プログラム		
	タイトル	所属ゼミ	研究・発表者	時間
211教室	音楽のイメージ調査	大森拓哉ゼミ	荒川美奈・木谷花子・石塚瑠奈	M
	麻雀のイメージ調査	大森拓哉ゼミ	中野大地・長谷川冬弥・渡嘉敷大智	M
	トランプ戦争	大森拓哉ゼミ	石川将基 他 大森拓哉ゼミ2年生	M
	タバコに関する考え方	大森拓哉ゼミ	鈴木海偉・恩地海太・土屋智博	M
	書籍バーコードを用いた書籍情報取得システム	出原至道ゼミ	大塚裕紀	L
	C言語学習における注意点	大森拓哉ゼミ	川村歩未	M
	教育機関の個人情報漏洩についての調査	齊藤S.裕美ゼミ	鈴木翼・家田巧	L
	医療、教育分野の個人情報漏洩について	齊藤S.裕美ゼミ	及川雅貴・正井海月・小林裕樹	L
	大阪府における個人情報漏洩の分析	齊藤S.裕美ゼミ	大輪憲生・久島達人・山口知徳	L
パチンコ・スロットのイメージ調査	大森拓哉ゼミ	津川誠・小野寺亮・小嶋大輔	M	
212教室	学園祭アリーナ展示物作品について	彩藤ひろみゼミ	磯野萌々香・大橋奈紗・菊本瑞希・坪崎遥香・荒井綺花・小澤千双悠・陳朱婷	M
	学生によるプロジェクションマッピングの試み	彩藤ひろみゼミ	笠原敏幸・根本龍之介・小林拓己	M
	学園祭ボーカロイドライブについて	彩藤ひろみゼミ	横山大悟・濱田龍・関兼二朗・荒井直樹・森岡豪・小幡和輝・鏡田海飛	M
	複数人が参加するAR空間における視点共有機能の比較	出原至道ゼミ	市村侑己	L
	スマホゲームでデザインが多い1日サイクルゲームの作成	彩藤ひろみゼミ	村山竜晟	M
	諏訪商店街サマーフェスタに展示参加して	彩藤ひろみゼミ	栗本寛太・金木雄也・折本卓巳・朝倉大貴	M
	スタイリストと顧客のマッチングシステムの構築	多摩データサイエンス研究会	阿部慎吾・金木雄也・荒井綺花・磯野萌々香	L
	ID・POSデータを用いた地方ごとの購買動機と購買行動の分析	久保田貴文ゼミ	先田剛	L
	フットサルの戦術に生かすための統計データの活用	久保田貴文ゼミ	水谷勇希	L

※発表時間はM:10分 L:15分



多摩大学 体育会フットサル部

勇気と決断力をもってプレーし、目指せ日本一!

2017年12月25日、多摩大学体育会フットサル部が活動報告会を開催。

杉田文章顧問、福角有紘監督、米田圭孝主将より2017年度の活動報告がありました。

【2017年度の活動概要】

■選手

22名(4年生5名(夏引退)、3年生2名、2年生9名、1年生6名)
マネージャー2名
※石田健太郎選手 U-20 アジア選手権日本代表、
バルドラール浦安Fリーグ特別指定選手選出

■スタッフ体制

監督:福角有紘(6年目)、コーチ:横山哲久(戦術コーチ)、
松原君守(キーパーコーチ)、伊敷和馬(フィジカルコーチ)

■全日本大学フットサル大会 全国大会(大阪) 遠征費 寄付

寄付総額 392,000円(30名) 温かいご支援ありがとうございました。

■今後の予定

3月14・15日: KOBEカップ2018
大学フットサル地域リーグチャンピオンシップ出場(神戸市ワールド記念ホール)
※全国9地域の大学フットサルリーグで活躍している代表チームが競い合う全国規模の大会
3月17~25日: スペイン(バルセロナ) 遠征

■主な戦績(2018年3月12日現在)

- ①関東大学リーグ 準優勝
→ KOBEカップ2018 出場権獲得
- ②東京都大学リーグ 全勝優勝
- ③全日本大学フットサル大会
東京都優勝、関東2位
全国大会グループ戦敗退(1勝2分)
- ④全日本選手権 ※サッカー天皇杯に匹敵する大会
東京都予選5勝し突破(初) ベスト8
都大会1回戦で、ベスカドーラ町田アスピランチに3-5で敗戦
- ⑤Fチャレンジリーグ ※育成目的のFリーグ中心のリーグ
7勝1敗
- ⑥FFCカレッジフットサルリーグ ※株式会社エフネットスポーツによる民間リーグ
全勝優勝



引き続き、温かいご声援のほど、よろしくお願いいたします。

文部科学省「平成 29 年度 私立大学研究ブランディング事業タイプ A」採択

本学の「大都市郊外型高齢化へ立ち向かう実践的研究 ―アクティブ・シニア活用への経営情報学的手法の適用―」が文部科学省「平成 29 年度 私立大学研究ブランディング事業タイプ A」に採択されました。

文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、優先課題として全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学・短期大学に対し、経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援するものです。「平成 29 年度私立大学研究ブランディング事業タイプ A (社会展開型)」には 123 の私立大学・短期大学等が申請し、33 件が採択され、東京都の文系大学では本学のみが採択されました。

多摩大学は「大都市郊外型高齢化に立ち向かう大学」として多摩ニュータウンをモデルに、活力ある高齢者層の社会参画を核に、情報技術と経営学的手法を組み合わせ、「課題解決型研究」、「事業創造型研究」、「世代継承型研究」の 3 本の研究を柱に、研究を推進して参ります。

※採択された本学の研究ブランディング事業の詳細は、以下の URL からご参照ください。<https://www.tama.ac.jp/research/branding/>

多摩大学「シルバー・デモクラシー企画」開催

「多摩大学 寺島実郎監修リレー講座」の受講者を対象に、農業体験を通して、リタイア後の世代が新たな社会参画を考える企画として、10 年後にリニア中央新幹線が結ぶ山梨県南アルプス市との連携で「シルバー・デモクラシー企画」を実施しました。



第 2 弾 山梨県南アルプス市「稲刈り体験×講座」開催

2017 年 10 月 1 日、雄大な自然の中 21 名の参加者が「稲刈り」体験をしました。5 月 28 日の第 1 弾「田植え」企画の際に、富士山を望む棚田に植えた早苗が育った様子に喜びを感じつつ、NPO 法人「田舎暮らしの郷 南アルプスせせらぎ棚田倶楽部」会員の皆様の指導のもと取り組みました。700 m²の田んぼでの作業に悪戦苦闘しながらも作業による疲労感を上回る充実した達成感があり、第一次産業に踏み込むことの意義を体感しました。その後、「湧泉の里」敷地内の「ふるさと文化伝承館」にて、南アルプス市教育委員会文化財課のご協力により、「甲斐源氏と武家社会」と題した講座を受講。知的満足度も高い企画となりました。

第 3 弾 山梨県南アルプス市「山梨ぶどう体験×講座」開催

2017 年 11 月 5 日、山梨県南アルプス市にて山梨ぶどう体験と講座を実施し、27 名が参加しました。【バス車中事前学習】①“やまなし大使”青木茂樹駒澤大学教授「やまなしの風土と産業が織りなすマリアーージュ」②本学 趙 佑鎮教授と久恒啓一副学長「石橋湛山について」【見学】南アルプス市中央図書館にて館長の全体説明後、専門スタッフの案内で南アルプス市ふるさと人物室第 3 回展示「言論人・エコノミスト・政治家石橋湛山×気骨」を見学【講座】①久恒啓一副学長「教養としての人物記念館巡り」②斎藤秀樹氏「南アルプス市が育んだ偉人石橋湛山」甲州市勝沼「ぶどうの丘」での昼食は、見晴らしのよい展望テラスでバーベキュー。同施設内地下のワインカーブにてテイスタングを堪能。交流会では本講座の企画趣旨である高齢者の社会参画の現状や人生体験など、参加者全員から様々な思いが語られ、共感の輪が広がる貴重な機会となりました。

第 4 弾 特別企画

2018 年 2 月 5 日、2017 年度シルバー・デモクラシー企画参加者を対象に、寺島実郎学長参加の特別企画を、寺島学長の知的活動の拠点、寺島文庫ビルにて開催。6 万冊の書籍と、貴重な歴史的資料が展示されている 4 階、収録スタジオの 2 階を見学後、1 階「文庫 Café みねるばの森」にての懇親会で、参加者の自己紹介と寺島学長のシルバー・デモクラシー企画総括講義が行われました。

高大接続アクティブ・ラーニング研究会の活動総括

2017 年 12 月 2 日に多摩大学および多摩大学の附属・系列中学校・高等学校教職員による高大接続アクティブ・ラーニング研究会の活動総括を大学教職員 11 名、高等学校教員 6 名参加のもと行いました。

2017 年 4 月に発足した高大接続アクティブ・ラーニング研究会では、「韓国研修プログラム」、「日黒プロジェクト」、「神奈川県いちょう団地プロジェクト」、「農業プロジェクト」等の大学生と高校生・中学生がともに活動を行う学修プログラムをはじめ、外部講師を招いての講演会、大学・高等学校・中学校が連携した研究授業、高大接続に関する論文・論考の調査等、活発に活動を行ってまいりました。その結果、生徒・学生・教職員・外部関係者等プログラム参加延べ人数は 12 月までの 9 ヶ月間で 2,156 名にのびりました。また、大学プログラムを修了した高校生・中学生への「学修証明書」の発行など、制度や仕組み面でも高大連携の強化が図られました。

これらの活動を通じた学修成果は、12 月 9 日に開催された「2017 多摩大アクティブ・ラーニング発表祭」で、大学生、高校生が学修報告として発表いたしました。

※本年度の発表内容については 2・3 面をご覧ください。



経営情報学部 後援会主催 就職セミナー 開催報告

2018年1月28日、多摩キャンパスにて「経営情報学部 後援会主催 就職セミナー」を開催。第1部 講演、第2部 パネルディスカッション、第3部 ゼミ別懇談会・個別相談会が行われました。

○第1部 講演

浅田誠造後援会長による就職セミナー開催の挨拶の後、杉田文章 経営情報学部長が多摩大学の教育と人材像や取り組み、今年度の就職状況について説明しました。

「多摩大学はどう学生を育てようとしているのか」（中庭光彦 経営情報学部就職委員長）では、2017年度の就職（内定）実績、教職員一体の就職支援体制、就活環境の変化、2018年度の多摩大学就職支援の内容、学生がすべきこと、2017年度秋学期からの「やる気・自発性のある学生」向け特別プログラムなどについて講演を行いました。

「多摩大生はいつから何を準備すべきか」（浜田正幸 就職委員）では、就職活動のスケジュールを示し、企業の採用（内定）基準と現状、採用の現場（企業）の声と内情、就職活動の準備などについて解説し、就活準備は1年生から就活は3年11月頃から始まることが伝えられました。



杉田文章 経営情報学部長の挨拶



中庭光彦 就職委員長の講演



浜田正幸就職委員の講演



OB・OGと内定者が参加したディスカッション



ゼミ別懇談会の様子

○第2部 第四次産業革命のリーディングカンパニー （採用担当者）は多摩大生をこう見ている

司会は高部大岡 キャリア支援課職員が務め、タクシー、ハイヤー、バスのサービス提供を事業内容とする国際自動車株式会社（以下、km）に内定した学生3名と社員として活躍するOB・OG各1名が参加して、ディスカッションを行いました。テーマ1「なぜkmか?」では、kmを選んだ理由、決め手、会社の特色などについて内定者と社員がそれぞれの思いを語りました。また、テーマ2「イイ就職活動とは?」では、内定者と社員が就職活動での体験談やイイ会社を見極めるポイントを議論しました。その後、同社の西川洋志社長がサプライズで登場しました。キャリア支援課が制作した動画では、内定者が街中で職業について人々に問いかけることで仕事への意識を高めていく様子が映し出されました。

○第3部 ゼミ別懇談会・個別相談会

ゼミ別に各教室にて、保護者の皆様とゼミ担当教員が大学やご家庭における学生の生活や就職活動などについて懇談しました。職員がご質問等にお応えする個別相談会も実施し、保護者の皆様と大学が情報交換する貴重な機会となりました。

「グローバル化する観光産業の人材育成と活用VI」シンポジウム 報告

2017年10月20日、藤沢市商工会館ミナパークにて、グローバルスタディーズ学部主催によるシンポジウム第6弾「グローバル化する観光産業の人材育成と活用VI」を開催しました。このシンポジウムは藤沢市における観光・ホスピタリティをテーマとしたもので、行政関係者や市民など多くの方々の参加がありました。

多摩大学は2015年に藤沢市、藤沢市観光協会と観光連携等協力協定を締結し、江の島を訪れた外国人へのアンケート調査など様々な活動を通して連携を深めてきました。グローバルスタディーズ学部では、従来からの英語教育、コミュニケーション力向上のための教育とともに、2020年を視野にインバウンドを中心とした「おもてなし」やホスピタリティについての教育を行っています。ホスピタリティ・マネジメントコースでは、正課の観光関連の科目や「スポーツとオリンピック」の専門家を招聘したワークショップ等を通じて、オリンピック・パラリンピック、セーリングのワールドカップの開催地としてのアウェアネス（認識・意識）を高めることに取り組んでいます。また、テストマッチ（2018年）、プレオリンピック（2019年）、2020年の東京オリ

ンピック・パラリンピックに向けて、グローバル化する観光産業で活躍できる人材の育成を目標としています。

シンポジウムでは、安田震一 グローバルスタディーズ学部長が「多摩大学は藤沢市、藤沢市観光協会、鉄道会社、ラジオ局などと協力しながら、この地域を盛り上げていこうと考えています」と挨拶し、鈴木恒夫藤沢市長は「藤沢市が歴史と文化のある街であることを来日する外国人にも知ってもらいたい。そのために大学や観光協会、商工会議所、団体、市民などマルチなパートナーシップで取り組んでいきたい」と抱負を語りました。韓準祐専任講師は、講演「大分県湯布院の事例から考える観光まちづくり」で、湯布院における観光まちづくりの成功事例や中心人物とそのつながりなどを紹介しました。寺島実郎学長は、基調講演「時代認識と観光・ホスピタリティ～湘南・藤沢のインバウンド戦略～」で、最近の世界情勢とアジアダイナミズム、マカオやシンガポールの観光産業などについて解説し、「藤沢市はポテンシャルが高い地域。これからは付加価値の高い観光産業をつくるのが重要」と講じました。



安田震一グローバルスタディーズ学部長の挨拶



鈴木恒夫藤沢市長の挨拶



韓準祐専任講師の講演



寺島実郎学長の講演



会場の様子

経営情報学部 2017 年度 春学期 褒賞者

※学年は2017年度（春学期）のものとなります。

多摩大学経営情報学部では、学業や社会活動において優れた業績を上げた学生を褒賞する制度を設けています。

2017 年度 春学期 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の模範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
上岡 萌絵
馬場 明仁

・区分 2

学生氏名
秋田 友吾
荒兼 悠人
今泉 宏樹
小松 篤弥
鈴木 卓馬
田代 斗真
田中 梓
ZHAO DAN
塚越 絃多
永井 ひかり
中村 功太
藤盛 佑哉
古谷 響伽
堀下 颯叶
宮本 寛士
吉田 桃子
米盛 裕香
綿地 鈴夏

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
窪田 楓

・区分 2

学生氏名
岩下 結
岡田 充希
貝守 光希
貝守 勇希
菊池 裕輝也
下島 大和
関 謙二郎
津布久 裕貴
徳光 李央
中島 麻莉奈
中田 理樹
野田 航平
早川 礼奈
藤山 拓海
宮浜 洸介
山村 香織
渡部 稜

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
荒井 綺花
副島 幸奈
古橋 明日香

・区分 2

学生氏名
阿部 慎吾
磯野 萌々香
磯本 昇
伊槻 裕紀
奥原 れいな
笠原 敏幸
紙谷 祐輔
川田 浩大
坂本 尚平
嶋崎 慧
田中 雄大
坪崎 遥香
長田 直人
早坂 一哉
増田 悠斗
茂木 佑馬
森部 佳奈

※学籍番号順



学部長挨拶



優秀学生 1 年生



優秀学生 2 年生



優秀学生 3 年生



優秀学生 プレゼミ SA

【2017 年度 春学期 優秀学生賞】

① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生

② 教育補助 (SA) として著しい功績があった者

◎印は、選出理由

科目名	◎	氏名
English Expression I	1	上岡 萌絵
English Expression I	1	萱間 慶美
English Expression I	1	古谷 響伽
IT 活用法 I-B	2	荒井 直樹
IT コミュニケーション入門 C	1	伊部 裕次郎
IT コミュニケーション入門 D	1	鈴木 卓馬
IT 概論 I	1	野田 航平
TOEIC I	1	関 謙二郎
TOEIC I	1	山村 香織
Web デザイン I	1	関 謙二郎
Web デザイン I	2	早坂 一哉
アジア経済論 I	1	中嶋 大樹
アントレプレナーシップ論	1	中島 麻莉奈
海外活動英語コミュニケーション I	1	荒井 綺花
海外活動英語コミュニケーション I	1	中島 麻莉奈
韓国語 I-A	1	霜田 愛璃
管理会計入門	1	ZHOU GUO
キャリア・デザイン I	1	中島 麻莉奈
キャリア・デザイン入門 A	1	八束 あき
教育心理学	1	横堀 巧
クリエイティブデザイン I	1	新館 諒
グローバルエコノミー I	1	JIANG YU QIAN
グローバルエコノミー III	1	川田 浩大
グローバルエコノミー III	1	田中 雄大
グローバルヒストリー I	1	川田 浩大
経営科学 I	1	澤田 和季
経営情報論 I	1	大輪 憲生
経営組織 I	1	荒井 綺花
原価計算	1	ZHOU GUO
現代メディア論 I	1	阿部 慎吾
財務会計 I	1	白井 拓海
産業社会特講 (デジタル時代のメディア実践 I)	1	松村 佑太
消費心理	1	中野 花
情報探索法	1	並木 太亮
情報と職業	1	布施 萌乃
情報ネットワーク	1	磯野 萌々香

科目名	◎	氏名
情報倫理	1	関 謙二郎
情報倫理	1	山口 知徳
スポーツ II-A	1	荻生 恭平
スポーツ II-A	1	趙 丹
スポーツと健康	1	平田 賢
多摩学 II	1	森部 佳奈
地域観光論	1	青山 康平
地域観光論	1	天羽 正恵
地域産業論 I	1	澤田 和季
地域ビジネスプランニング	1	栗本 寛太
地域ビジネスプランニング	1	渡邊 健史
中級簿記	1	茂木 佑馬
中国経済論	1	荒井 綺花
中国語 I-A	1	馬場 明仁
中国語 I-B	1	猪俣 大雅
中国語 I-B	1	廣瀬 くるみ
中国ビジネスコミュニケーション I	1	JIANG YU QIAN
データサイエンス I-A	1	津布久 裕貴
データサイエンス I-B	1	茅島 佑樹
データ分析実践	1	阿部 慎吾
ビジネスコミュニケーション I	1	鈴木 翼
ビジネス数学 I	1	岡田 充希
ビジネス数学基礎	1	谷萩 優一
ビジネス戦略 I	1	貝守 勇希
ビジネス戦略 I	1	菊池 裕輝也
ビジネス戦略 I	1	森部 佳奈
ビジネス入門 I-A	1	上岡 萌絵
ビジネス入門 I-B	1	相澤 大虎
ビジネス入門 II-A	1	AIRETI WUFUER
ビジネス入門 II-B	1	馬場 明仁
プレゼミ I 1 クラス	2	大塚 裕紀
プレゼミ I 2 クラス	2	鈴木 悠哉
プレゼミ I 3 クラス	2	玉木 真悟
プレゼミ I 4 クラス	2	柴田 はるな
プレゼミ I 5 クラス	2	村山 竜星
プレゼミ I 6 クラス	2	松本 瑠正
プレゼミ I 7 クラス	2	廣野 樹梨

科目名	◎	氏名
プレゼミ I 8 クラス	2	岡部 里那
プレゼミ I 9 クラス	2	黒川 歩花
プレゼミ I 10 クラス	2	山口 知徳
プレゼミ I 11 クラス	2	木谷 花子
プレゼミ I 12 クラス	2	福田 恭丈
プレゼミ I 13 クラス	2	今 建太
プレゼミ I 15 クラス	2	早坂 一哉
プレゼミ I 16 クラス	2	井 汐里
プレゼミ I 17 クラス	2	栗本 寛太
プレゼミ I 18 クラス	2	和泉 遼
プレゼミ I 19 クラス	2	市川 侑弥
プレゼミ I 20 クラス	2	工藤 春哉
プレゼミ I 21 クラス	2	荒井 直樹
プレゼミ I 22 クラス	2	南 直人
プレゼミ I 23 クラス	2	赤坂 英紀
プレゼミ I 24 クラス	2	石山 裕也
プレゼミ I 25 クラス	2	山崎 大
プレゼミ I 26 クラス	2	杉村 優香
プレゼミ I 27 クラス	2	馬場 新
プレゼミ I 28 クラス	2	大橋 奈紗
プログラミング入門 I	1	貝守 光希
マーケティング入門 A	1	森部 梨奈
マーケティングモデリング	1	奥原 れいな
ミクロ経済学-A	1	小田島 功弥
ミクロ経済学-B	1	荒兼 悠人
ミクロ経済学-B	1	趙 丹
ミクロ経済学-B	1	米盛 裕香
問題解決学入門 I-A	1	萱間 慶美
問題解決学入門 I-B	1	鈴木 卓馬
余暇マネジメント I	1	小田島 功弥
余暇マネジメント I	1	瀬沼 桜基
余暇マネジメント I	1	綿地 鈴夏
ライフ・デザイン B	1	田中 梓
立志論 A	1	秋田 友吾
立志論 B	1	上岡 萌絵

※科目名 50 音順

SGS Festa 11th 「Happy ～みんな笑顔に SGS～」

2017年11月4日・5日に湘南キャンパスにて、第11回SGS Festaが開催されました。今年のテーマは「Happy～みんな笑顔にSGS～」。

来場者にHappyな気分を味わってもらうためには、学園祭実行委員会メンバーを中心とした学生たちがまず楽しみ、笑顔が溢れていることが大切という思いも込められています。今年の学園祭では主に地域性を強調し、プログラムはSGSの所在地である藤沢（ローカル）から地球（グローバル）を考えるという「グローカル」を意識して構成されました。

藤沢市、藤沢市観光協会、多摩大学との三者連携プロジェクトやイベントなどのパネル展示、振付演出師の南流石さんや地元ゆるキャラと踊る「ふじキュンダンス」、藤沢にゆかりのあるロンドン五輪銅メダリストの立石諒氏による講演会、六会中学校吹奏楽部や地元バンド「チロル」の演奏など地域色豊かな内容となりました。地域連携公開講座「とにかく親子でサイエンス」、湘南地域を拠点に活動するAtractivo Activity Clubとのコラボ企画「小さなお子様向け体操教室」では、親子でイベントを楽しむ様子が見られました。その他にも太鼓集団「響」やサークルの演奏、バクステ外神田一丁目のステージ、ロックバンド「Layne」のライブ、HANDSIGNのボーカル&手話パフォーマンスなどのイベントが開催されました。屋外ではクラスごとに出品した世界各国料理の模擬店、カフェテリアではボランティアサークルによる紅茶やスイーツの提供、屋内ではゼミの展示発表、サークルによる展示やゲームなどがありました。また、「沖縄研修発表会」では、ホスピタリティ・マネジメントコース授業の一環として2017年夏に実施された沖縄名桜大学における研修成果を学生が報告しました。保護者説明会やミニオープンキャンパスも同時開催され、来場された幅広い年齢の方々楽しんでいました。



模擬店やイベントを楽しむ来場者たち



模擬店 (A1 サーターアンダギー)



お茶会 (Tea Ceremony Club)



沖縄名桜大学研修報告



模擬店 (C2 唐揚げ)



カフェテリア (Zion's club)



翻訳のあれこれ (高橋順子ゼミ)

経営情報学部【多摩キャンパス】

第29回多摩祭「グローカル・フェスタ 2017 in TAMA」

多摩キャンパスでは、2017年11月11日・12日に第29回多摩祭が開催され、地域から多くの方々が来場されました。今年のテーマは「トラベラーズ」(旅人達)。地域とグローバルを旅人のように多摩祭の雰囲気の中で楽しんでほしいという気持ちを込めて、多摩祭実行委員会が中心となり学園祭を作り上げました。今年は子どもも楽しめる企画を多数用意し、アリーナを会場とした「たまパーク」では、1年生の授業「プレゼミII」がクラスごとに、ストラックアウト、キャンディ・ガムすくい、ジャンボダーツ、射的、万華鏡づくりなどの縁日や、たこ焼き、ポップコーン、わたあめなどの模擬店を出店し、多くの親子連れが参加しました。001教室では少女キャラクターやヒーローのショー、バーチャルアイドルライブ、音楽連合ライブ、演劇サークルによる公演、グローカルファッションショー「ミス・ミスターコンテスト」、お笑いライブ&ピンゴなどを開催。屋外ではゼミやサークルによるやきとり、焼きそば、豚汁などの模擬店が出店し、グローカル・カフェでは中国・韓国・台湾からの交換留学生が各国のお茶やお菓子を提供して、多摩大学の国際交流活動を紹介しました。モンゴルゲルの傍らでは馬頭琴演奏会も催し、来場者は異文化体験を楽しみました。その他にも、体育会活動発表のパネル展示、サークル体験会、ゼミが企画したVRやゲームなどの体験コーナー、プレゼミII発表会などのイベントも実施。T-Studioでは、多摩大卒業生や教員が交流する「ホームカミングデー」と懇親会、杉田文章 経営情報学部長による記念講演(主催:多摩大学同窓会)が開催されました。また、子ども向けの英語ゲーム、中高年向けの脳トレやメタボ対策の講義など多摩大教員による各種公開講座には様々な年代の方々に参加して、考えたり身体を動かしたり熱心に学んでいました。



晴天にも恵まれ、来場者で賑わう会場



グローカル・カフェ (交換留学生)



たまパーク (プレゼミII ストラックアウト)



公開講座 (飯田健雄教授)



模擬店 (浜田正幸ゼミ やきとり)



グローカルファッションショー ミス・ミスターコンテスト



瀬戸内お茶処 (志賀敏宏ゼミ)